【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和4年6月16日(2022.6.16)

【国際公開番号】WO2021/137284
【出願番号】特願2021-568462(P2021-568462)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 57/04(2010.01)
Ｆ１６Ｈ 57/021(2012.01)
Ｆ１６Ｈ 57/037(2012.01)
Ｆ１６Ｈ 48/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 57/04 Ｊ
Ｆ１６Ｈ 57/021
Ｆ１６Ｈ 57/04 Ｂ
Ｆ１６Ｈ 57/037
Ｆ１６Ｈ 48/08

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月28日(2021.5.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ラージピニオンギアとスモールピニオンギアとを有するピニオンギアと、
前記ラージピニオンギアの公転軌道と軸方向にオーバラップする壁部と、
前記壁部と前記ラージピニオンギアとの間に設けられたプレートと、
前記プレートの下部及び前記ラージピニオンギアの公転軌道の下部にクリアランスを介して設けられた底部と、を有し、
前記軸方向における前記プレートを挟んだ前記壁部側の空間と前記ラージピニオンギア側の空間は、前記プレートの下部に位置する前記クリアランスを介して互いに連通している、動力伝達装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記クリアランスと対向する対向壁部が前記スモールピニオンギアの外周に設けられている、動力伝達装置。
【請求項３】
請求項２において、
前記対向壁部は、前記プレート及び前記ラージピニオンギアの公転軌道と前記軸方向にオーバラップする部分を有する、動力伝達装置。
【請求項４】
請求項１乃至請求項３のいずれか一において、
前記ラージピニオンギアは、はすば歯車であり、
前記はすば歯車のはすばの向きが、前記ラージピニオンギアの自転に伴い潤滑油を前記壁部側へ導入する方向に設定されている、動力伝達装置。
【請求項５】
請求項１乃至請求項４のいずれか一において、

前記底部には、前記軸方向に延びる一対の側壁リブが設けられている、動力伝達装置。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一において、
前記壁部には、前記クリアランスと前記軸方向に対向する開口部が設けられている、動力伝達装置。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一において、
前記ラージピニオンギアと噛合するサンギアの上流に配置されるモータを有し、
前記サンギアは、前記モータと前記軸方向にオーバラップする、動力伝達装置。